

FACSIMILE EQUIPMENT

Patent Number: JP60182851

Publication date: 1985-09-18

Inventor(s): OOHIRA HIDEAKI; others: 03

Applicant(s): MATSUSHITA DENSOU KK

Requested Patent: JP60182851

Application Number: JP19840039256 19840229

Priority Number(s):

IPC Classification: H04N1/00

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To combine organically a facsimile equipment with an external controller such as a computer by switching and controlling the input connection and output connection according to instruction information of the computer from a system control section.

CONSTITUTION: When a control signal including instruction information and data information is given from the computer 2 to a facsimile equipment 1, the control signal is inputted from a computer interface section (CI section) 10 to a system control section 15. Then the system control section 15 recognizes the instruction information and the data information from the control signal, controls switch means 11-14 according to the content and sets the operating condition of required constituents for the execution of the instruction content. Then the operation is started by a start signal from the computer. Many new functions are provided to the facsimile equipment 1 by the kinds of instructions from the computer 2.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

①日本国特許庁(JP)

②特許出願公開

③公開特許公報(A) 昭60-182851

④Int.Cl.

H 04 N 1/00
H 04 L 13/00

識別記号

107

庁内整理番号

8020-5C
Z-7240-5K

⑤公開 昭和60年(1985)9月18日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑥発明の名称 ファクシミリ装置

⑦特開 昭59-39256

⑧出願 昭60(1985)2月29日

⑨発明者 大平英明 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号
⑩発明者 上野 郁雄 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号
⑪発明者 奥村 雄仁 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号
⑫発明者 要田 和夫 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号
⑬出願人 松下電送株式会社 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号
⑭代役人 斎藤士中尾 錠男 外1名

明細書

1. 発明の名称

ファクシミリ装置

2. 特許請求の範囲

原稿紙取扱い、複数の符号化・復号化手段及び
複数種子数から成る符号化・復号化手段へ複数
号を割り当てて入力する入力切换手段と、第1の符
号化・復号化手段から記録部、第2の符号化・復
号化手段及び変換手段へ複数号を割り当てて出力
する出力切换手段と、外部の時間処理からの命令
情報とデータ階層に従って前記各手段を制御する
制御手段とを備置したことを特徴とするファクシ
ミリ装置。

3. 発明の詳細な説明

発明上の新規性分類

本発明はコンピュータ等の外部開閉装置と記録
手段とし、オフィスオートメーション・システム
の構成要素となるうちのファクシミリ装置に関する。

従来例の構成とその動機

近年のオフィス・オートメーションの度により、

ファクシミリ装置も、従来のような単純な専用機
器としての使用だけでは物足りなくなってきている。
すなわち、オフィス・オートメーション・システム
の一つのコンボーネントとして、コンピュータ
等と有機的に組合し、これまで式無い、強々な連
絡を果すことが望まれている。

しかしながら、従来のファクシミリ装置は、平
常開路としての色彩が強く、一回の設立した開路
として発展されていただけで、それぞれに専用や
用途の異なるユーザーのオフィス・オートメー
ション・システムの一つのコンボーネントとして使
用に耐え難いだけの難通性や発展性に欠けるとい
う欠点があった。

発明の目的

本発明は上記欠点に基づいてなされたものであ
り、コンピュータとのインターフェースを可能と
したファクシミリ装置を提供することを目的とす
る。

発明の範囲

本発明式となるファクシミリ装置は、複数種取扱

と記録部と第1及び第2の符号化・復号化部と以下、BC/BE 部と通称する。3と復号部と回路制御部とコンピュータ・インターフェース部と以下、C1部と略称する。4とシステム制御部と最速情報の各種要求への入力装置及び出力装置を併設する復号部の切换装置とを組み、コンピュータ制御部よりコンピュータが出力する命令信号によって切换手段の断続を制御すると共に、コンピュータが出力するデータ信号によって各種要求をそれそれ独立に動作を制御するものであり、これによりコンピュータ等の外部制御装置と直快的に連合でき、かつ新たな機能を発揮できるものである。

実施例の説明

以下、図面に基づいて本発明の一実施例を説明する。図は本発明の一実施例によるファンシーメータ装置の断面プロトタイプである。同図において、1はファンシーメータ装置で、2はファンシーメータ装置に接続されたコンピュータ、3は同じくファンシーメータ装置に接続された回路である。

ファンシーメータ装置において、4は送信取扱

(記入せず)を光学的に表示して非表示化ラスター及び画面信号を有する液発光取扱、5は表示符号化ラスターを画面信号を受けて、その画面信号によって再生信号を記録する記録部、6は複数個の固定のソーネンスに基づいて入力信号を符号化したり、符号化したりする第1のBC/BE 部、7は第1のBC/BE 部と同じ機能を有する第2のBC/BE 部である。ところで、第1及び第2の符号化・復号化部、8は以下の4種類の動作を統一的に実施するものである。

1. 入力する字符符号化ラスターを画面信号をそのまま出力する。

2. 入力する字符符号化ラスターを画面信号を符号化ラスターを画面信号に併せて出力する。

3. 入力する符号化ラスターを画面信号を字符符号化ラスターを画面信号に併せて出力する。

4. 入力するキャラクタを符号化信号を字符符号化ラスターを画面信号に併せて出力する。

なお、上記1と4の複数の符号化及び符号化の方法も複数種のものがあり、代表的をものに、

CCITTのTシリーズの符号の中のMK方式やM8方式がある。

また、図において、9は入力する信号を復調したり、復調したりする回路回路である。この回路回路のもと記録部の記録再生方式を備えており、その代表的なものに、AM-PM-VSB方式や復調再生方式などがある。10は回路回路のためにデータバス信号を抽出したり、回路との複数回路を断続切換する回路回路である。11は外部のコンピュータと接続し、画面信号と符号信号を交換するC1部である。このじき11の複数の代表的な方式はEIAのRS232-CやIEEEの485がある。

さらに、11～14はそれぞれスイッチ等の切換手段であり、切換手段11は送信取扱、12は送信取扱部4、13はBC/BE 部7、C1部10及び回路回路から第1のBC/BE 部6への各種の画面信号の入力接続を、切換手段12は第1のBC/BE 部6から記録部6への各種の画面信号の出力接続を、切換手段13はBC/BE 部7と各機能装置部4との記録部6への各種の画面信号の出力接続を、切換手段14は第1のBC/BE 部6から記録部6への各種の画面信号の出力接続を、

第1由はC1部10から第2のBC/BE 部7、第1のBC/BE 部6及び記録部6への出力接続を、切換手段14は第2のBC/BE 部7、第1のBC/BE 部6及び記録部6からC1部10への各種の画面信号の入力接続を、それぞれ行うものである。また15はファンシーメータの上記記録再生部を個別に構成するシステム部回路である。なお、图において、矢印はすべて信号の経路を示し、制御信号の経路に対しては記入していないが、システム部回路15と各機能装置部4との接続が交換されていることはさうでもない。

以上の構成を有する本実施例によるファンシーメータ装置の動作を以下に説明する。

まず、コンピュータ2がファンシーメータ装置4に出力する制御信号には、命令情報とデータ情報を含まれている。命令情報とは、コンピュータ2がファンシーメータ装置4を用いて実現しようとする作業の内容を示し、その作業内容の代表的なものを以下に説明する。

命令1：復取→送信取扱部4に取扱を読み取る。

て記憶される面情報をコンピュータの内部メモリに記憶する。

命令C:記憶コンピュータ2の内部メモリに記憶されている面情報を記憶部に読み込んでハードコピーに変換する。

命令D:ファクシミリ通信コンピュータ2の内部メモリに記憶されている面情報を送信端のファクシミリ装置に送信する。

命令E:コンピュータ通信コンピュータ2の内部メモリに記憶されている面情報を送信端の複数装置を有するコンピュータに送信する。

命令F:データ変換コンピュータ2の内部メモリに記憶されている面情報を符号化あるいは符号化して、再び、コンピュータ2の内部メモリに記憶する。

一方、データ情報とは、記憶する面情報をあるいは必要とする面情報を内部メモリに記憶する。

一方、データ情報とは、記憶する面情報をあるいは必要とする面情報を内部メモリに記憶する。例えば、面情報を符号化する初期情報や、符号化されている命令の符号化方式の情報を記憶する。

から記憶されるデータ情報に従って符号化方式で符号化し、C1端子からコンピュータ2に入力できる。これにより、本機上の面情報をコンピュータ2の内部メモリに記憶する。

(2) 命令Fの場合

システム制御部10は、切換手段12が記憶部を、切換手段11がC1端子を、切换手段13がC1端子を、切换手段14がC1端子をそれぞれ選択するように制御する。したがって、コンピュータ2の内部メモリに記憶された符号化データを記憶部を介してC1端子のBC/BR端子で符号化された符号化面情報をC1端子を介してC1端子のBC/BR端子で符号化された符号化面情報をC1端子に読み込む。これにより、コンピュータ2に記憶された面情報をハードコピー化できる。

(3) 命令Cの場合

システム制御部10は、切換手段12が記憶部のBC/BR端子を、切換手段11がC1端子

に代入する。

上記命令情報とデータ情報を記憶部からファクシミリ装置に代入されると、その制御信号などと共にからシステム制御部10に入力する。すると、システム制御部10はその制御信号の中から命令情報とデータ情報を用意し、その内容にしたがって、切換手段11～14を制御すると同時に、その命令内容の実行に必要な操作情報を動作可能に設定すると共に、動作手段をも選定する。そして、コンピュータ2からのスタート信号により、動作を開始する。

次に、前記のF～Eのそれぞれの場合についてファクシミリ装置1の動作を説明する。

(1) 命令Eの場合

システム制御部10は、切換手段12が記憶部を、切換手段11がC1端子を、切換手段13がC1端子を、切換手段14がC1端子をそれぞれ選択するように制御する。したがって、記憶部の面情報をC1端子で得られた符号化ラスター表示面情報をC1端子のBC/BR端子でコンピュータ2

BC/BR端子で、切換手段12が記憶部を、それぞれ選択するように制御する。これにより、コンピュータ2に記憶された面情報をC1端子を介してC1端子のBC/BR端子に入力して記憶部に記憶された符号化ラスター表示面情報を符号化し、その次に、C1端子のBC/BR端子に入力して、相手のファクシミリ装置(読みせず)と合意の取れた変換方式で符号化し、さらに変換情報を記憶部に入力して、相手のファクシミリ装置(表示せず)と合意の取れた変換方式で変換し、面情報を複数装置及び複数面情報を記憶部に記憶した回数を経じて、相手のファクシミリ装置に伝送できる。これにより、コンピュータ2に記憶された面情報を基づくハードコピーを送信しても構ふことができる。

(2) 命令Dの場合

システム制御部10は、切換手段12が記憶部を選択するように制御する。これにより、コンピュータ2に記憶されている面情報を、C1端子を介して記憶部に入力

して接続し、色選別部⑥及び回路部⑦が設立した回路を経じて、相手の回路部を有するコンピュータ(图示せず)に送信できる。これにより、複数地点で数個のコンピュータに、コンピュータが記憶する情報等と同じものを配信させることができ。

(6) 命令の処理

システム制御部①は、切换手段①-3が第2のBC/BE部②を、切换手段①-1が第1のBC/BE部①を、切换手段①-2がC1部①-0をそれぞれ選択するよう制御する。したがって、コンピュータが記憶するキャラクタ符号化面認分を、C1部①-0を介して、第2のBC/BE部②に入力し、そこでお待ち化タスクを並列面信号に変換し、さらに、第1のBC/BE部①に入力し、そこで符号化タスクを並列面信号に変換し、再び、C1部①-0を介して、コンピュータに投入する。これにより、コンピュータに記憶された記憶情報を所定の符号化方にのものに变换できる。

ある。

以上で説明したものは、本実施例によるファクシミリ装置において使用のファクシミリ装置に接続する機器の一部であるが、このようて本実施例により、原稿複数枚から得られる面情報をコンピュータが持つデータとを合成したり複数したものへのデータを複数枚、それを送信部のファクシミリ装置やコンピュータに伝送できる。また、コンピュータを電子ファイルシステムとして使用できる。

なお、本実施例では、切换手段をスイッチ等のハード手段として説明したが、これは、ソフトウェアで実現しても良い。また、本実施例では、C1部①-0と複数面認分及び第1のBC/BE部①との間に面信号と次方向の通過経路を設け、それぞれ切换手段を設けているが、これはなくても良い。つまり、第1と第2面認分の符号化・符号化部を、入力信号をそのまま出力するというように設定すれば良いからである。

むらば、本実施例は上記実施例にのみ限られる

ものではなく、本発明の精神に反することなく、開示を追加や変更を行うことは、本発明であれば容易に考究される。

実用の効果

以上のように、本発明によれば、原稿複数枚、記録用、第1及び第2のBC/BE部、複数部、回路部及びコンピュータ等の別途複数装置とのインターフェース部をそれぞれ独立したシステム制御部が制御し、面信号の通過経路を切换えるための切换手段をシステム制御部が外部側面接続からの命令信号及びデータ信号に基づいて制御するものであるから、動速性や高精度が良くなり、複数面認分システムや電子ファイルシステム等のオフィス・オートマージン・システムの1つのコンポーネントとしてどのようなシステムにも十分に活用できる。

4. 装置の簡単な説明

图は本発明によるファクシミリ装置の概略ブロック図である。

1……ファクシミリ装置、2……コンピュータ、

4……原稿複数枚、5……記録部、6……符号化・符号化部、7……面認分部、8……回路部、9……切换手段、10～14……切换手段、15……システム制御部。

代理人の氏名 井戸士中 比較 明 ほかの名

